

洋上風力促進のための区域の選定等に関する有識者会議（第5回）

○議題

「洋上風力発電の地域一体的開発に向けた調査研究事業」を活用して調査を実施する海域について

○概要

<調査を実施する海域選定について>

- ・ 調査を実施する海域の選定については、委員から以下の意見が示された。
 - ✓ 選定にあたっては、都道府県より情報提供のあった海域のうち、事業者からのニーズ、風況等の自然条件、行政機関や事業者が既に実測調査や環境アセス等に未着手であること、発電形式の多様性や地域的多様性を考慮することが妥当。
 - ✓ 海域での事業者のニーズや漁業者に関する情報は、都道府県が最も良く把握しており、都道府県側より調整の見込みが提示されないと調査を進めていくことは難しい。
 - ✓ 都道府県が調査を行うことが可能であるとの認識を持っている海域を前提とし、更に、事業者のニーズも踏まえて候補海域を選定していく選定方法は合理的である。
 - ✓ 今回選定する3海域は、海域の特性や水深も異なるため、全ての海域で同様の調査仕様にはならないだろう。一方、いずれの海域においても発電所の基本設計に必要な情報が提供できるよう、NEDOにおいて具体的な調査仕様等を検討いただきたい。

<今後の進め方について>

- ・ 本日の議論の結果、①北海道岩宇・南後志地区沖の着床式エリア、②山形県酒田市沖の着床式エリア、③岩手県洋野町の浮体式エリアの3海域が調査を実施する海域として選定され、調査実施に係る今後のプロセスを進めていくことについて合意が得られた。